

離職率激減・結果を出すチームビルディング

～平凡な人間を集め、非凡な成果を実現させる唯一の方法～

講師：株式会社 ティ・エム・ジー 代表取締役 平野喜久臣

＜ セミナー内容 ＞



昭和21年長崎県生まれ。
昭和62年 株式会社ティ・エム・ジーを設立し、医業経営に特化したコンサルティングを開始。
平成8年には医学博士 本田孝也 医師（慶応大学医学部卒）と戦略的診療構造改善システム（CACS）を共同開発、以後ITを活用した医業経営支援システムを構築・開発し、全国展開。
この間、時代の要求に応えるかたちで、病医院の新規開業、老人保健施設、ケアハウス、障害者福祉ホーム、複合型介護施設等開設に係るコンサルティングを精力的に実施するとともに、医療制度構造改革に対応するため病・医院の人材育成開発に力を注いでいる。
2011年度より日本経営士協会九州支部長に就任。

<http://www.tmg-consulting.co.jp/>

●日時：8月9日（木）18:30～20:45

（開場18:00）

●会場：長崎市立図書館 新興善会議室2

長崎市興善町1-1 ☎095-829-4946

●受講料：3,000円

●定員：10名（定員になり次第締め切らせていただきます。）

●申込方法：お申込みは下記に必要事項を記入のうえ、ファックスによりお申込みください。受付完了後に弊社より電話にて受付完了のご連絡を差し上げます。
なお、受講料は当日受付にて頂戴いたします。

先般の社会保障と税の一体改革の議論でも、「介護」は重要なテーマのひとつとして取り挙げられました。

財源の不足はもちろんのことですが、なかでも人材確保の問題、離職率の高さ、介護訴訟等も業界を含む社会全体の深刻な課題です。

そこで本セミナーでは、それらの課題を解決するために、医療機関や施設、事業所が抱える人材の問題について、世界最強の組織アメリカ国防総省（ペンタゴン）で開発されたFFS理論をご紹介します。

1、FFS理論について

世界最強の組織“アメリカ国防機関”で開発・活用され日本でも約400社を超える上場企業に採用された最適組織編成理論。組織潜在力を引き出し、最強の“組織作り”と最適な“組織運営”が科学的手法によって実現できます。

2、FFS理論における組織最適化とは

企業が現在の組織で業績を伸ばすためには、最少の人数で最大の利益を生む必要があります。そのためには、一人ひとりの能力を最大限に発揮する組み合わせである組織最適化（適材・適所）の実現が必要であります。今いる社員が気持ちよく仕事ができるだけでなく、組織の潜在力を発揮し、生産性を高めることで成長可能な組織作りを科学的に実現します。

要するに、科学的な診断により、適材適所のチーム編成を行い、互いが気持ちよく業務に専念できる。さらに言えば、離職率の最たる要因である人間関係を科学的に解消するというものです。

3、組織最適化の効果は

組織を最適編成すると職位や役割に関係なく、チーム内で個性の違いによる役割分担が自然発生的に生まれメンバーの充実感や充足感が共に高くなるという結果が実証されています。

さらに、この充実感等は患者さまやご利用者様にも波及するため、ご利用者等の笑顔が増えるという効果ももたらします。そして、介護事故が減少するという効果も期待できます。

お問合せ

LIFE・DESIGN株式会社 (<http://life-des.com/>) 教育研修担当：勝矢・片山
〒851-0101 長崎市古賀町993番地3 TEL095-832-0001 / FAX095-832-0007

FAX:095-832-0007

8/6（月）以降のキャンセルは受け付けません。資料作成の都合上、受講料をご請求させていただきますので、あらかじめご了承ください。

受講者名（代表） ふりがな	参加人数 （代表者を含む）	人
病院名・事業所名・施設名		
連絡先住所	申込日	
TEL:	FAX:	月 日